

(結い度。無形資産ストックORフロー。たえ妙)

もったいない研究所 WandZ 靈斎

1. 「結い財」を造語した目的

来るべき社会運営の目的関数とその定量尺度提示

コンヴィヴィアリティ? (とんとんともだち)

How are you? ご機嫌いかが、お元気? 調子はどう?

ご機嫌測度、ご機嫌度、調子度。活き活き度。活性度。

その意義は、社会最適選択が進む制度感情土壤

2. 当面の課題

2.1 来るべき社会の目的関数。育むべきもの、、?

コンヴィヴィアリティ? 豊かさ、つながり

ソーシャル・キャピタル

多元的関数

かつての目標。G N P、G D P 経済発展に替わる目標。低二酸化炭素排出? 非更新性資源低消費?

2.2 核分裂原子力発電の科学理論的抑止 低二酸化炭素排出

2.3 コンヴィヴィアリティ資源効率、資源効率の量量化

ここだけ今だけを見ててもだめ。全体で、全機的に、、。

全体視。

未来の生命生物とのつながり、、。

もったいない つながり

石油石炭レアメタル。消費

廃棄、核廃棄物。。。 核融合、、、

核分裂利用残滓としての核廃棄物は子孫への負債

3. エントロピー学会設立時の期待と課題

設立前の理研シンポまで、幾つかの課題が出ていた。植田敦「核融合開発でクリーン利用 20年で実現説への懷疑」「非更新性化石資源非依存社会の提示と移行」、玉野井芳郎「地域問題 地域循環 自立自律的社会 エントロピー」、高橋秀俊、押尾勇雄「資源効率 節約省資源創資源活資源 エクセルギー」

4. エントロピー理解の現到達点

丸山真人によるエントロピー的着目の例示 ぴっかぴかの真新しい浮世のここを見て思う、、。雑巾はどこにある? 汚れはどこへ行った、隠された?

5. 熱力学的思考の特徴

5.1 素人が現実感覚がら構築した。利用者の目的成分の取り出し、人間にとっての有用性を意図。

5.2 単に数理的というより、より自然哲学的。

5.3 システム思考 系思考、全機的認識、

6. 「循環」に込められた社会構造のイメージ

サークル? サイクル? ネットワーク?

日本人のサイクリックな循環する時間。物質の循環。日本人のサイクリックな世界観の投影?

イリイチ「ただの循環ではなく精製 distillation が組み込まれていることが重要」(丸山)。

7. 道具立て

エントロピー

ネガントロピー

経路依存、歴史的経路依存

8. 確認すべき前提

8.1 科学、論理、は大丈夫か？ ジェヴォンズの論理、シャーロックホームズの論理、ケインズの確率。

8.2 功利主義は大丈夫か？

目的関数主義、効用関数主義、功利主義、、。

功利主義の受容。ソクラテスかブタか

8.3 目指すべき価値の確認

価値、大切なものの、価値設定の変容？

白鳥紀一「課題への理論物理学的な世界観価値観変容による創造的構築的アプローチ」

物理学が世界観を変えることがある。世界観を変えることで、資源社会環境問題を救いたい。

9. 道具立て

9.1 ネグントロピー、有効エネルギー、エクセルギー

とりあえず

「ネグントロピー」は、まだ、あまり叩かれていない。2002年シンポに、2003年「えんとろびい」51号に再登場してから5年あまり。

<http://mediat.sakura.ne.jp/WandZ/N/HiroshimaP200mail13+del.htm>

H i r o s h i m a P 2 0 0 2 0 0 5 年 広 島 シ ン ポ 計 画

ネグントロピーの応用の「可能性／不可能性」は、まだ十分検討されていない。その意味でまだ新しい。

佐藤は、ネグントロピーが物理的「価値」に関する指標だと主張する。

だが、それが、社会的価値一般に敷衍できるかは分からぬ。

既に、KL情報量として、統計量的な意味で利用されている。

だが、それをさらに強く、価値と結びつけた利用の可能性は？

（ところで応用統計数理的な立場では、むしろ現実の物理と強固な連結をなくして、フリーハンド

で数理を白紙状態で応用局面に適用したいらしく、現実との強固な連結は不必要的邪魔だとう。）

ネグントロピーのエネルギー一次元である、エクセルギーでは、「省エクセルギーは心地よい（宿谷昌則）」

<http://blog.goo.ne.jp/raycy/e/f2b>

a24b8d3c42001d18e332f14ad6829

靈犀社2 建築環境学と材料の出会い～省エネルギーは心地よい～

として、
イノチを暮らしを

<http://blog.goo.ne.jp/raycy/e/1d346eb7aeb262de1549ad585084edfa>

靈犀社2 Life ライフ 生活 生命
イノチ。資本論、エンゲルスの手紙の和訳。

充足した上で、最リラックスモードは省エクセルギーかつ心地よい。

ここにエクセルギーと心理につながりが生じる可能性が。最リラックスが環境負荷低減未来適合的エクセルギー消費形態の指針となる可能性がある。

エネルギーの供給に制限のある段階
「絶頂段階」

<http://raycy.seesaa.net/article/29336985.html>

靈際：改定新版 エントロピーの法則—地球の環境破壊を救う英知 ジェレミー・リフキン、竹内 均

そこで、感性にも絡む例として、「もったいない」やら「豊かさ」への、適用をこころみている。

<http://mediat.sakura.ne.jp/WandZ/m/mottainai2>

0061101-3

2006年横浜シンポ 予稿 一部訂正

<http://mlabo.seesaa.net/>

もったいない研究所

しかしながら、物理的価値と心理的価値では、心理的なゆがみが介在してまったく比例というわけにはいかぬであろう。だが、判断の根拠は、物理的に提出されることが、心理感性への根拠として必要であろう。

そうでなければ、無根拠に右往左往することとなる。

2007年新潟シンポ、当初は小ネタのつなぎで考えていた。

<http://blog.goo.ne.jp/raycy/e/17fc50d4092626586470c7d33706ff08>

靈犀社2 新潟計画

特に有力だと思っていたのは、電動タイプライターIBMセレクティヴの情報エクセルギー効率。

<http://blog.goo.ne.jp/raycy/e/54d324a499dd97676290551346be0ca2>

靈犀社2 印字あたりのエクセルギー史観。ネゲントロピー史観。メッセージ当りの以下同文

先行研究、福田研二「ニエクセルギー価値説」的なものがあるようだ。

<http://blog.goo.ne.jp/raycy/e/f4da04926e6bb281e5c553ff2c167bd3>

靈犀社2 エクセルギーと経済の関係に関する考察

東京セミナーで、社会運営目的指標としての、GDP代替指標ってな話しが出た。

<http://blog.goo.ne.jp/raycy/e/8fb4294f832f04d054d2b499ee7e3b83>

靈犀社2 市場が完全に効率的になることが目的ではないのでは? 市場の目的は?

そこで、コンヴィヴィアリティが定量化できたな

らってな荒唐無稽(?)な発想をした。これを狙つてみた。

2006年の「もったいない」の「ファクター(資源生産性)4」

<http://raycy.seesaa.net/article/26267107.html>

靈際: ファクター4—豊かさを2倍に、資源消費を半分に エルнст・ウルリッヒ フォン・ワイツゼッカー、L. ハンター ロビンス、エイモリー・B. ロビンス、Ernst Ulrich von Weizsäcker

絡みで、「豊かさ」は、とりあげたいと思っていたので、似たものだろうぐらいに思っていた。

<http://blog.goo.ne.jp/raycy/e/04ced5b608e5311ab5ff810613dd2b51>

靈犀社2 ごきげんを伺います。ご機嫌を測る。ご機嫌測度。HowAreYou?
HowI Am?

さらにコンヴィヴィアリティ類を、「結い財」などとした。

新潟シンポでは、「結い財」なる造語で、自らを苦しめた。

その後新潟から帰って、K垣氏にメールの相手をしていただいた。で、問題を「豊かさ」「大河内一男のミル理解? 功利主義?」「脳内脳外世界ネットワーク」「結い、結い(財)、結い度」ぐらいに分けて考えてみようかと思うようになっている。

(「タイプライターで、ネゲントロピー価値説は、いえるか」てのも、あるな。)

人的集団の呼称にはどのようなものがあろうか。
衆、結い。

<http://blog.goo.ne.jp/raycy/s/%B7%EB%A4%A4>

靈犀社 2 結いで検索

まだ切り分けが進んでいないが、「豊かさ」系は草稿 yutaka として、順次アップするかも。

<http://mediat.sakura.ne.jp/WandZ/u/?N=A>

Index of /WandZ/u

ネグントロピーは相対（あいたい）が得意、全体での抜け落ちが起りがちかも。

問題の全系依存性。（橋田邦彦「全機性」？？まったく未調査）

全体を見渡す抜け落ちの検算？そのときエネルギー保存則、そしてエントロピーが役立つかも。

エントロピーでは、途中経路が、不得意では？
経路依存、割れ目？

「ネグントロピー」のほかに、ポール・A・デービッド「経路依存」寺田虎彦「割れ目」も道具立てとならないかと思っている。

だが、更新性地表資源性資源と、実際の価値をリンクさせることなど、は、かなり、荒唐無稽に思われる。

熱ネグントロピーのようなものと、情報的な、社会的価値的なものと、では、同レベルでは扱えないのだろうなあ。

単に、制御理論のような、エネルギー系と信号系の絡みの話しなのだろうか？

http://blog.goo.ne.jp/raycy/e/94c36abebde35ad_a63dd9b2b4d6b5bf3

靈犀社 2 階級？階層？異なる世界。だが繋がり関連はある、でも、単純な加減算はできないようだ。。。

ちなみにコンヴィヴィアリティは

<http://blog.goo.ne.jp/raycy/s/%A5%B3%A5%F3%A5%F4%A5%A3%A5%F4%A5%A3>

靈犀社 2 コンヴィヴィで検索

喜怒哀楽ワイドレンジな、最適選択が進むような、

<http://blog.goo.ne.jp/raycy/e/7a8f502a221adb35ad5f1d6cf714d63f>

声が心に届く規模。こころが響きあうサイズ。

<http://blog.goo.ne.jp/raycy/e/072c42e10b5af58ecb0b30a255ecc7a4>

三線 Convivial Tool sounding board 乗せる
咎める 市場に訊く 皆に聞く

<http://blog.goo.ne.jp/raycy/e/ddb2e4fc4d4097a621d4f21acdb7127d1>

皆で一緒に泣いてくれた。。コンヴィヴィアリティ
みんなでべそかいた

<http://blog.goo.ne.jp/raycy/e/5b3c974145d2fae3aa825acb97b39e03>

全機過程 全機化 全機化プログラム 全機化エンジン インテグレータ コンビビエータ